

医学教育開発研究センター

Medical Education Development Center (MEDC)



国立大学法人
岐阜大学



1944年 岐阜大学医学部創立

1990年代 岐阜大学における医学教育の改革

基礎・臨床統合型のカリキュラム
テュートリアル教育（能動的少人数教育）
診療参加型の臨床実習、模擬患者の導入



2001年 医学教育開発研究センターの設立

テュートリアル部門：能動学習の開発
バーチャルスキル部門：コミュニケーション教育
教員研修「医学教育セミナーとワークショップ」



2008年 大学院博士課程（医学教育学分野）の設立

医学教育のエキスパート、研究者を育成

2010年 医学教育共同利用拠点に認定（文科省）

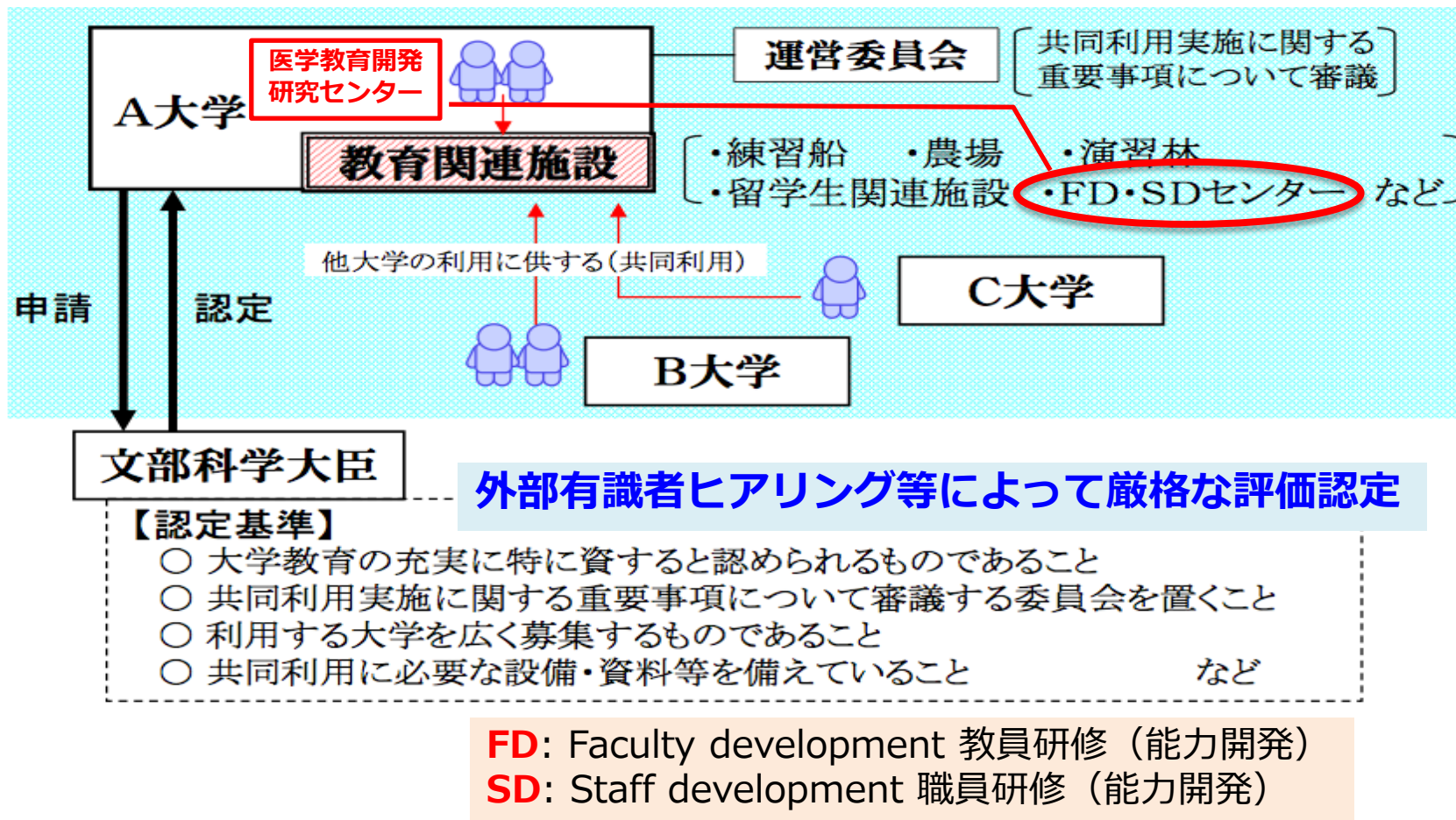
医学教育では全国唯一

2014年 医学教育共同利用拠点に再認定（文科省）

医学教育では全国唯一
過去5年間の活動実績が認められた



教育関係共同利用拠点 = 大学連携のハブ



- 多様化する社会と学生のニーズに応えるべく、各大学において、それぞれの教育理念に基づいて機能別分化を図り、個性化・特色化を進めながら教育研究活動を展開していく。
- 質の高い教育を提供していくためには、個々の大学の取組だけでは限界があるため、**他大学との連携を強化**し、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等の有効活用を推進することにより、大学教育全体として多様かつ高度な教育を展開していく。

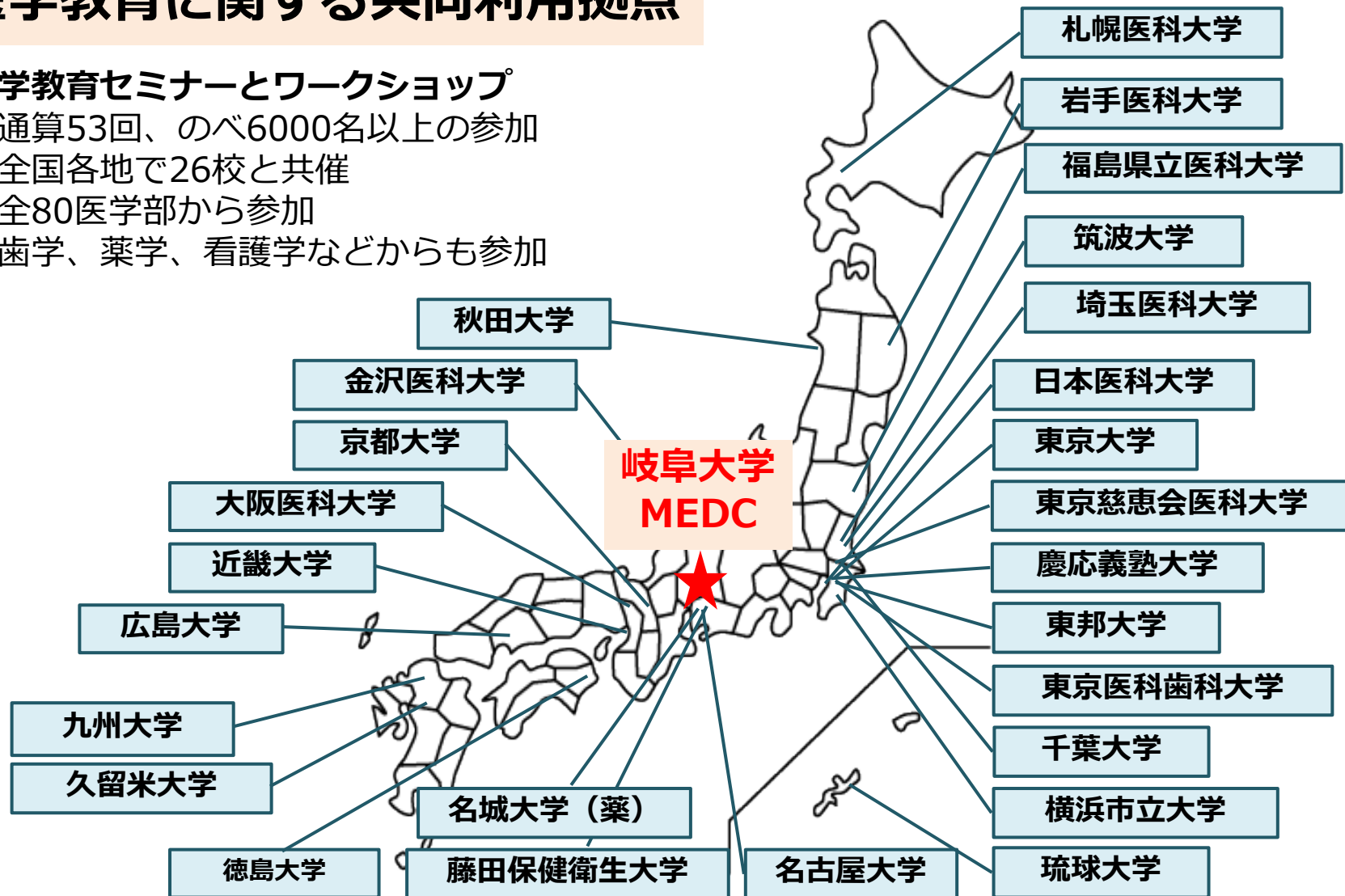
全国80医科大学・医学部の 医学教育に関する共同利用拠点



国立大学法人
岐阜大学

医学教育セミナーとワークショップ

通算53回、のべ6000名以上の参加
全国各地で26校と共催
全80医学部から参加
歯学、薬学、看護学などからも参加



これからの5年間

複雑化・高度化・国際化する医療を担う優れた医師・医療人を育成するためには、医療教育者も高度な指導能力を身につける必要がある。当センターでは優れた医療教育者を育成するために「**医療者教育フェローシップ**」を構築し、国際標準の学識・実践力・リーダーシップを備えた医療者教育のリーダーを養成する。

拠点としての事業

(1) **医療者教育フェローシップ**

A) 医療教育者研修プログラムの構築

B) 医療教育者のキャリア支援

C) 医療者教育に関する研究の支援

(2) 専門医の教育を推進する指導医養成

(3) 医学教育セミナーとワークショップ
事務研修の更なる推進

フェローシップ
によって教育の
ノウハウ向上

医療者教育
リーダー

フェロー

シップ受講

医学教育セミナーと
ワークショップ参加

若手医療教育者

- 国際標準の医療者教育プログラム構築
- 有能な医療人育成
- 専門医育成に貢献
- 医療者教育リーダー
エキスパート、研究者を育成

必要性・緊急性

- 急激な社会変化に伴う医療問題の克服
- 医療人の更なる能力向上
- 国際的レベルの医療者教育のリーダー養成

医療環境の急激な変化
超高齢・少子化、グローバル化

岐阜を拠点に
オールジャパンで構築